

# 杉二小同窓会報

第7号

杉並区立  
杉並第二小学校  
同窓会事務局発行

編集  
南・桐村・小島

## 高田先生沓掛小へ



杉二小で五年間校長を務められた高田先生がこの三月離任されました。

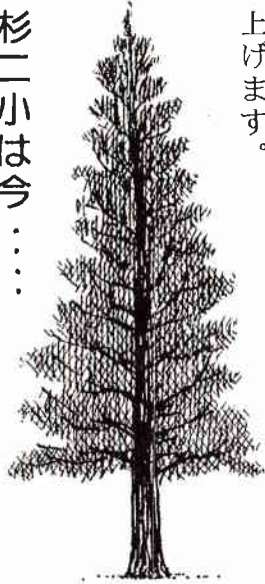
## 杉二の誇り、同窓会

高田英雄

五年前に杉二小に着任して驚いたことのひとつに充実した同窓会の活動がありました。創立百周年を機会に設立され、現在の体制を整え、同窓会組織を見直し、名簿を作成したと聞いております。私は、四月一日付で、区内の沓掛小学校へ異動して、杉並区内の経験も五校を数えます。杉並第二小学校の同窓会の組織力、活動内容などを考えますと、区内随一と言っても過言ではありません。ひとつには、同窓会文庫の存在です。毎年蔵書がふえ、子どもたちは、楽しみにしています。本離れが言われる中、読書好きの子どもがふえているのも、うれしい限りです。この様に、図書室の他に、本が読めるスペースを確保している学校は多くはありません。

また、充実した活動にも頭が下がります。強く印象に残っているのは、創立百十五周年の年で、その記念に同窓会が、名誉会長の金田一春彦先生をお招きして、講演会や合唱などが盛大に開催されたことです。その年の秋には、同窓会の橋渡しで、全校児童を対象にして、金田一春彦先生から、ご自身の小学生時代の思い出や学校の様子についてお話を聞くこと

ができました。さらに、国語学者の先生は、若い頃は作曲家をめざされていてその夢が叶い、近年作曲集をまとめられました。その中の二曲を先生と共に歌うことができたのも同窓会のおかげでした。犬丸直（芸術院院長）会長をはじめ、金田一春彦先生、谷川俊太郎先生、能面師の羽生光善氏、等々、各界で活躍されている卒業生を挙げれば、枚挙にいとまがない程です。最後にになりましたが、学校と融合している同窓会の益々のご発展をご祈念申し上げます。



## 杉二小は今……

### 【オシドリ交流】

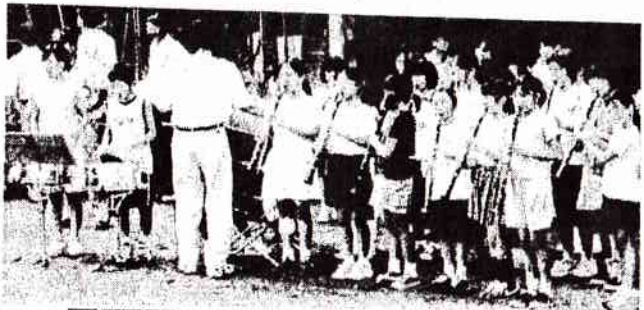
杉二小で教鞭をとられている佐々木先生の故郷は鳥取県日野町、中国山地と田畑に囲まれた町です。その中心を流れる日野川には毎年十一月から三月、多いときには五百羽以上のオシドリが飛来します。その世話をしているグループの代表池岡氏は先生の幼なじみ。五年前にクラスの子ども達に話して聞かせました。「オシドリはドングリが大好物。でも雑木林が減ったせいか、餌を集めるのに苦労しています」。子ども達はドングリを集めて持ち寄り、送りました。その年から代々先生のカラスでは有志による秋の

ドングリ拾いが恒例になっています。去年十月の鳥取県西部地震、震源地に近い日野市でしたが、オシドリは変わらさずやってきました。復旧作業の傍ら世話を続ける池岡さん達を応援しようと、ドングリ集めにいつそう力が入りました。成田西幼稚園にも協力を頼み、卒業生の応援もあって集まった百二十キロのドングリ、「地震の被害はどうですか？」見舞いの手紙を添えて送りました。遠い鳥取のオシドリを思い、始まったドングリ拾いですが、杉二小の周りの緑豊かな自然を再発見し触れ合うきっかけにもなっているようです。

### 【地域行事を盛り上げる

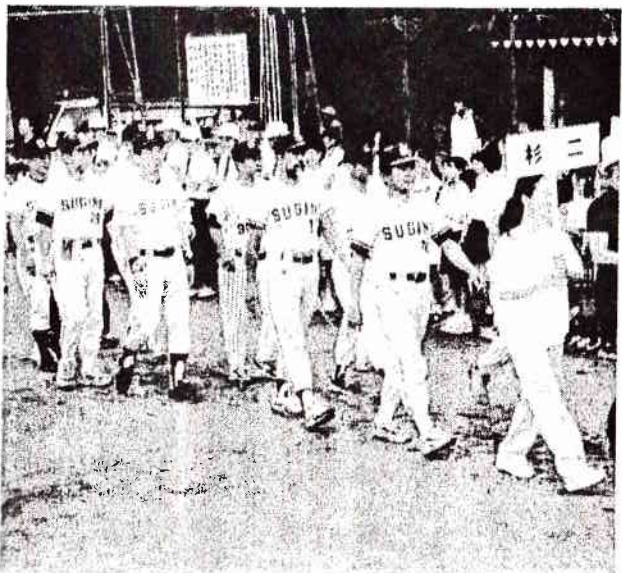
#### 杉二小吹奏楽部】

P T A 野球や少年野球の開会式・入場行進、南北バスすぎ丸の開通式、成田西幼稚園入園式などの式典での演奏、またセシオン杉並における親子フェスティバル出場、都大会では優秀賞を受賞した杉二小吹奏楽部ですが、それらの活動に対して杉並区から表彰状を頂きました。



### 【P T A 野球大会準優勝】

杉並区立小学校 P T A 野球協議会の平成十二年度秋季大会は三十五周年記念大会。八月二十七日に善福寺川緑地公園球場における開会式（写真）に始まり、区内四会場での熱戦の結果、十二月三日の決勝戦で杉二小の準優勝が決定しました。



### 【野球部の皆様ありがとうございます！】

毎年行われる同窓会総会の準備のひとつに、イス百脚、机六、演卓一を体育館に並べる作業があります。人手不足の折、いつの日からか杉二小 P T A 野球部（会長 S 二十五年卒近藤氏）のお父様方がこの重労働にたずさわって下さり、試合の前や間に駆けつけてあつという間に設営完了となります。大変有難く、心より感謝申し上げます。

### 【南北バスすぎ丸開通】

十一月二十五日、阿佐ヶ谷〜浜田山間に区の南北バス路線が開通しました。走るのほすぎ丸の愛称を持つミニバス。杉二小前にもかわいいベンチ付きのバス停が出来ています。（十五分間隔で運行、杉二小前のバス停は十番）



## 想い出文庫

S三三年卒

八ツ藤恒夫

杉二小の二階、空き教室を利用した小さな文庫がある。部屋にはじゅうたんが敷かれ、壁ぎわに書棚が、しかし、本来あるべき机も椅子もない。そこで本を読むには座るか、場合によってはねころんで…自由なスタイルで読めば良い。誰からも、何も言われない。子ども達にとつて「本が置いてある」というだけの自由な空間だともいえる。

同窓会が杉二小創立百年をお祝いして会員の総意で創り上げた理想の部屋、その名も「同窓会文庫」。以来希望図書を補充しながらすでに二十年近くになるためまだまだ不十分とはいえ蔵書は三千冊を超える。購入図書の選定は学校におまかせしているのと同窓会としては無言、運営についても無難なこと、なかなか評判が良く、利用については時間割に組みこんだり…といろいろな工夫もなされているとか。

近くの小学校からもうらやましがられているというのもうなづける。「ええっ！君たちの小学校にはなかったの？」杉二育ちの中学生にとつては文庫が身近なものになりきってもごく当たり前、あと数年もたつと文庫で育った卒業生も三十代、社会の中堅どころともなり、小学校時代をなつかしむ頃になるはず。さてその時、真の意味で「想い出文庫」となっていることを願って、今年もまた二十万円相当の図書を寄贈することになっている。会員の方々の善意に感謝、そして学校に感謝。



## 大好きな同窓会文庫

五年

工藤春香

私は、四年生の時、同窓会文庫のとなりの教室でした。だから、よく同窓会文庫室に本を読みに行っていました。

私は、「火の鳥」や、「鳥の図かん」をよく読んでました。ここには、図書室にない本もあるし、きれいでおもしろそうな本がたくさんあるから大好きです。

それに、社会などで調べたい時など、わざわざ図書室に行かなくても、文庫室で調べられるから便利です。

これからも、休み時間などに、文庫室に行き、本をたくさん読み続けたいと思います。

大好きな同窓会文庫で。

おわり

## 通信欄

本日残念ながら欠席の方々より

同窓会の皆様へ…

頼川三隆(S一三) 当日は小生出身中学都立立川高校の総会あり、残念ながら欠席させて頂きます。杉二小学校卒業後六十余年ぶりに御案内頂きましたが今後共宜しく願ひ上げます。

多田慶子(S二八) 春になると田んぼのあぜみちで草つみをしながら下校したこと等思い出します。今は学校の回りはどんな様子なのでしょう。一度訪ねてみたいと思っております。

武田俊治(S一九) お葉書有難うございました。今年も楽しみにしていましたが生憎親族の集まりと重なってしまい欠席いたしました。残念(特に後輩の演奏が聴けないこと)ですが来年を楽しみにします。役員の方々のご苦勞に感謝しています。私は毎朝荒川土手をウォークして元気に毎日を生きています。

加藤洋三(S一五) 体中にガタが来ていますが、騙しながら、運動やPCなどをして毎日を楽しんでいます。「駄洒落を一句」まだまだよ 磨けば光る 我がボディ

田中一郎(S六) 昭和六年卒業といえは同級生も少なく、長久保昌一、井口玄雄、田中金太郎の三氏くらいいになりました。能面打ち、短歌を趣味にしております。

増田れい子(S一〇・旧姓大田) いつもお誘いありがとうございます。この五月に岩波書店から共著で「読書のすすめ」を出します。幼い頃の体験など書きました。文庫版です。

山川富美(S九) 出席して皆さんにお会いしたい、特に同級生。(旧)長谷川多美子さん、林英子さん、小林とし子さん、千輪百合子さん、皆さんお元気ですか。私事右足ヒザ腰が悪く、歩行が出来ませんが、でもネ、商売をして居ります。よくなりましたら是非出席したいと思っております。

石野照久(S二三) 杉二小の近くに在った生家を離れて三七年余の年月が流れました。現在では子供も独立し妻と二人暮らしです。小生は昨年六月に一線を退きこの一年のんびりと過ごしましたが健康体力に恵まれておりますので、そろそろ「世の為人の爲」に活動を始めようと考えている今日この頃です。

青野泰子(S一八) 何年前でしたか六年五組クラス会を同時にさせて頂き大変有難うございました。七〇才の大台に乗り(？)生理的な感覚(年齢の)と内面の感覚のズレが徐々に縮まっていますようです。親など身近な先輩に対して「傍観者」であったことに改めて気付きます。老いるとは未知との遭遇とか——？

草加喜代子(S二五) 先日久し振り(ほとんど何十年振り)に、母校近辺(善福寺川緑地)を歩きました。四十代位の男性達がSUGINIの野球ユニフォームで楽しそうに活躍しているのを見かけて、とても懐かしく思いました。

荒川正彌(S一八) 漢詩「江雪」の心境です。  
孤舟蓑笠翁、独り釣る寒江の雪

日吉佳代子(S二九) 当時六年生の担任だった河村雄次先生を囲んで、毎年一回虹の子クラス会を開いています。二十人前後は集まります。幼い時代に戻って歓談できることをとても楽しみにしています。私自身は専門学校に勤務して三一年になります。

中村美代(S二三) 遠方の私方迄御案内頂き有難うございました。御盛会をお祈りいたします。今年三月終戦後はじめて杉二校迄孫に連れて行って貰いまして散策いたしました。立派になり驚き胸が一杯になりました。昔住んでいた東田町二一五のあたりを訪れましたがとうとうみつかりませんでした。七〇年前ですので変つてしまい、空襲をさげ庭の芝生の中に防空壕を掘り、敵機のキカン銃が屋根に当たってカラカラという音を今も思い出します。もう一度訪れてみたい処は昔住んだ東田町あたりでございます。大山さんという方がお住みとか弟が申して居りました。

川口節子(S三二) 二〇〇一年四月二一日岩片先生を囲む会が新宿でありました。

※大変お世話になり有難うございます。

高田聰(S二三) 開業医としてまだ働いています。リタイヤしている悠々自適の人を羨ましく思いますが、それなりに大変でしょう。生きている限り社会に貢献する人間でありたいものです。

平山勲(S二五) 二年前に入院三回、体調悪し、参加できず。許して……

丸野廣(S一九) 毎月第三金曜日夜、代官山カセドラドにてライブ、出ています。

鳥羽田哲男(S三七) 現在、香港に単身赴任中です。毎夏のクラス会には帰国しています。

鈴木喜美子(S二四・旧姓小林) 主人の母と里の母とに時間をつかっています。

吉田貞夫(S二四) H一三・四月より「東京工科大学」講師、八王子勤務。

若山よし子(S二六) ボランティアでお弁当を月一回ですが作ってお年寄りに配っています。

前田光治(S一五) 年令相応に健康で(社)電気通信協会の会長を勤めています。我々の組は年一回クラス会を続けており、同期の会(四組合同)も年一回開催しています。

松浦昇(S三二) 同窓会の幹事、ご苦労様です。昭和三二年卒業の三組は、去る四月二一日に五、六年担任を受け持つて頂いた「岩方順子先生(旧姓・宅間)を囲む会」を、新宿・小田急ホテルで開催しました。順子先生は、我々卒業後に岩方知行先生と職場結婚をされましたが、その最愛のご主人が昨年十一月に急逝されました。さぞ、お寂しい毎日をお過ごしのことと思ひ、先生を励まそうと計画しました。

小生、所用が有り一次会は欠席いたしました。二次会場である「ホテルサンルート東京」には顔を出し、先生の元気なお姿を拝見し安心致しました。また、クラスのメンバー、男性五名女性八名とも会う事ができ、楽しい一時を過ごす事が出来ました。なお、今回の「杉二同窓会」は所用により欠席させていただきますが、通信費を同封させていただきます。此少ですがご笑納下さい。

また再び尾崎の丘で